



まちだの 地域学校協働活動

将来を担う子どもたちの成長を支えるには、地域と学校が連携・協働し、社会総掛かりで教育を行うことが必要となっています。現在、町田市では、地域住民や企業・団体等の参画によって、学校を核とした「授業補助」「学習支援」「学校生活の安全支援」「文化・スポーツ体験」「福祉学習」、さらには「郷土学習」「環境学習」「自然体験」「部活動支援」「環境整備」「安全・安心な居場所づくり」など、子どもたちを育むための様々な教育支援活動が、全市立小・中学校で展開されています。地域の力が活かされ、地域社会のつながりが強まることで、子どもたちが豊かな体験・深い学びを通して、考える力・取り組む力や社会性を身に付けられることが期待されます。

今回は、2019年度に実施された活動のいくつかを紹介します。なお、2020年度は新型コロナウイルス感染予防に対応し、各校ともに活動を休止・中止、或いは活動内容を変更して実施するなどしています。

連絡先 学校支援センター・指導課 ☎ 042・724・4069

米作り 田植え 南大谷小学校

食育「食べられる野菜作り」の学習では5年生が米作りをしています。地域の方や農業専門家の指導を受けて、代掻き、田植えから稲刈り、精米までの全作業に取り組みます。田植えでは「足が抜けなくて焦った」「大変だった、だから楽しかった」など米作りの苦労の一端を体験しました。

苗がたおれないようにするのはむずかしいなあ。



放課後学習教室 町田第一中学校

町田第一中学校では、授業での学習をさらにしっかり学ぼうと考える生徒たちが放課後学習教室「アシスト」で勉強しています。地域の皆さんが先生として指導に当たります。生徒たちからの様々な相談にのっており、子どもの居場所としても大切な役割を担っています。

ここに補助線を引いてみたらどうかな。



あ、わかった！

登下校の見守り 町田第四小学校

町田第四小学校では、地域の皆さんや保護者の方々による児童登下校時の交通安全確保・生活見守り活動が、雨の日も雪の日も休むことなく続けられています。「この安全確保活動は、自分のやりがいです」と語る地域の皆さんによって支えられています。

おはようございます。



今日も元気だね。

伝統文化 茶道 相原小学校

「町田茶道会」の皆さんによる「茶道」の授業を、相原小学校6年生が受けました。礼の仕方、お茶の点て方・飲み方を体験しながら、日本の歴史、文化について学びました。自分が点てたお茶を楽しく飲む児童、正座から立ち上がることができずに転んでしまう児童など様々でした。

お辞儀は3種類あるのですよ。



はい！

パラリンピック 競技 ボッチャ 南第一小学校

南第一小学校3年生がオリンピック・パラリンピック競技種目を体験する授業で、町田市スポーツ推進委員の指導を受けました。ボッチャはリオ大会で日本が銀メダルを獲得した団体球技です。歴史、ルール、投げ方などを学んだ後に試合を行いました。子どもたちはチームで作戦を立てながら試合に臨んでいました。

投げ方を工夫すると、最後に逆転できるチャンスもあるんだ。



福祉学習 車椅子 高ヶ坂小学校

町田ボランティアセンターの地域支援スタッフによる車椅子体験学習が高ヶ坂小学校で行われました。

4年生全員が交替で車椅子の乗車体験、介助体験をしました。「車椅子を使っている人がこんなに不自由な生活をしているのを初めて知った」などと気づく体験でした。

小さな段差にも気を付けながら押します。

